

自 己 評 価 表

愛媛県立松山工業高等学校（全日制課程）

学校番号（24）

<p>教育方針</p>	<p>教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する豊かな人間性と創造性を備えた実践的な技術者を養成する。</p>	<p>重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的生活習慣の確立と自律心の育成</li> <li>2 分かる授業の展開と基礎・基本の定着</li> <li>3 探究心の涵養と創造力・実践力の育成</li> <li>4 資格取得の実践とキャリア教育の充実</li> <li>5 部活動の充実と個性豊かな人間性確立</li> <li>6 地域との連携とボランティア活動推進</li> </ol>
-------------	---	-------------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	教科指導の充実	ICTを活用した授業を、全教員の90%以上が実施できることを目指す。 A：90%以上 B：75～89% C：60～74% D：50～59% E：49%以下	A	全教職員がICTを活用した授業（Teamsやロイロノート、classi等）ができるよう2回以上の研修を行い、ほとんどの教員がICTを活用した授業ができるようになった。	効果的なICT機器の活用方法についての研究やICT活用等を利用した授業改善を模索中である。ICT課や図書研修課等と連携し、ICT研修や授業改善、授業評価方法について引き続き検討していくとともに、研究授業等でも実践できる体制を構築していきたい。
	教科指導の充実	「分かる授業」と「考える授業」を展開していくために、生徒用授業アンケートの回答欄「説明が分かりやすい」と「生徒の反応を大切にす」の回答率90%以上を目指す。 A：90%以上 B：75～89% C：60～74% D：50～59% E：49%以下	A	1月実施の授業評価アンケートの結果は、「説明が分かりやすい」で（そう思う）と（ややそう思う）が全体の95.6%、「生徒の反応を大切にす」で（そう思う）と（ややそう思う）が全体の95.9%となった。その他の項目においても90%以上が肯定的な回答をしており、生徒の実態に即した授業、興味・関心を喚起させる授業の実践ができています。	生徒の学習意欲をさらに向上させるために、「分かる授業」の実践に努めることとICT機器の活用能力向上を推進する。感染症や非常変災などで臨時休業や学級閉鎖などがあっても自宅での学習を支援できるようにする。また、授業は真面目に受けるが、やや受け身な生徒が多いことから、主体的に学習に取り組む態度を養い、思考力・判断力・表現力を向上させる指導を実践する。
	資格取得の充実	各種資格・検定試験の合格者総数5000人以上を目指す。 A：5000人以上 B：4999～4500人 C：4499～4000人 D：3999～3500人 E：3499人以下	B	3月上旬での合格者総数が4366人である。コロナ禍による受験機会の減少により、2・3年生が例年より減少傾向であるが、全国と比較すると高くなっている。最終的には4500人程度の合格者総数となっている。	資格取得は、進路選択のための指標にもなるので、目標を持って計画的に考えさせる。2年生の資格取得状況が、取得総数やジュニアマイスター顕彰取得にも大きく関わってくるため、早い段階での資格取得を奨励する。
生徒指導	基本的生活指導の充実	自ら進んで正しい挨拶のできる生徒を育成していく。それに関する生徒自己評価の質問事項の回答率100%を目指す。 A：100% B：90～99% C：80～89% D：70～79% E：69%以下	B	約93%の生徒が礼節を重んじて相手に合わせた正しい挨拶ができていますと回答している。登校時に正門で自転車を降り一礼する「校門一礼」も伝統的に定着しており、元気な挨拶をする生徒が多い。	挨拶は、基本的生活習慣や対人コミュニケーションにおいて重要なスキルであることを生徒たちが理解し、自ら進んで挨拶ができるように、学校生活のあらゆる場面で指導していきたい。挨拶の目的、仕方、場所での使い分けなど自分たちの挨拶に自信や誇りをもって、積極的にはきはきとした挨拶ができるようにしたい。
	交通安全指導の充実	登下校指導や交通安全教育の充実により、交通事故発生数0件を目指す。 A：0件 B：1～19件 C：20～39件 D：40～49件 E：50件以上	C	交通事故発生数は、昨年度（26件）より多くなっている。1学期（16件）、2学期（14件）で重大事故につながりかねない事故も発生している。	朝の登校指導、生活指導、校外自転車指導、ヘルメット着用指導、ホームルーム活動、事故後の指導等のあらゆる教育活動において、自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底を心掛けさせたい。下校時においても校門一礼を定着させたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

進路指導	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。 A : 100%      B : 95~99% C : 90~94%    D : 85~89% E : 84%以下	A	求人数は昨年度より20%増加し、コロナ禍以前よりも好調な傾向が続いている。1次合格率も95.1%と高い合格率を維持しており、最終的には100%の就職率を達成できた。	近年、面接試験で高度な学力や体力・主体性を求められるようになった。また、コロナ禍の影響で欠席が多く不採用となる生徒が増えており、売り手市場で合格率は高いが、個人の能力・出席率の向上を図る必要がある。
	進学指導の充実	生徒が自主的に学習できる環境を整えることにより、国公立大学合格者15名以上を目指す。 A : 15人以上    B : 10~14人 C : 6~9人        D : 1~5人 E : 0人	C	求人好調のため就職者が増え進学者は昨年度より15%減った。国公立大学希望者も昨年度の20名から10名となり、合格者も10名から6名と少なくなった。愛媛大学も希望者が5名、合格者が3名と例年より少なくなった。	学力が高く進学を希望している生徒に、高度な専門性を有する大学への進学は、自身にとって有意義な進路選択となることを丁寧に説明し、国公立大学への進学を促していく。
特別活動	特別活動の充実	全国大会上位入賞10部門以上を目指す。 A : 10部門以上    B : 8~9部門 C : 6~7部門        D : 3~5部門 E : 2部門以下	C	体育的な部のソフトボール部、空手道部、文化・生産的な部のメカトロ部、電子技術部の4部門7大会で全国大会上位入賞を果たした。	体育的な部活動では、環境整備、栄養管理指導研修会等の機会を多く設けるよう計画している。また、文化・生産部の部活動では、下級生も全国大会へ同行させ、大会の雰囲気、作業手順の研修、技術の習得等、学びと経験の場を多く持たせ、次年度以降の入賞へ結びつけるよう対策している。
工業指導	社会貢献の充実	「松工ものづくり社会貢献プロジェクト」として、ものづくりを通じた社会貢献を各学科一つ以上行う。	A	全8科とも「課題研究」を通して、一つ以上の社会貢献を目指した活動を実施している。今年度からポスターセッションを実施し、地域の課題について学習したことで、生徒達の社会貢献に対する意識が高まっている。	生徒の主体性を育むために、次年度も継続して取り組み、内容を充実させた研究発表会を実施させる。また、ホームページ等を活用して情報発信を行う。
人権・同和教育	人権教育の充実	松工人権宣言の100%の周知を目指します。 A : 100%      B : 90~99% C : 70~89%    D : 50~69% E : 49%以下	A	各ホームルーム教室に「松工人意見宣言」を掲示し、人権・同和教育ホームルーム活動やショートホームルームなどを通じて、周知の徹底を図った。12月に実施したアンケートで「知らない」と回答した生徒には、学習会を開いて周知と理解を図り、目標は達成できている。	来年度も100%の周知を目指していき、生徒が楽しく有意義な学校生活を送れるように、人権・同和教育の充実を図っていきたい。
環境整備	奉仕活動の充実	各クラス・部で、年1回以上の奉仕活動を行う。	B	学校行事の多い中、ある程度のクラスや部活動が奉仕活動を実施してくれた。	自主的に奉仕活動ができるような方策を考えたい。
業務改善	職場環境の整備	教職員のメンタルヘルス対策として、定期的に健康相談等の面談を行い、教職員の健康障害0名を目指す。	B	定期的に健康相談等の面談を行うとともに、面談を希望される先生方とは、随時面談を行い先生方の心に寄り添い、メンタルヘルスの維持向上に努めたが、体調を崩す教職員がいた。	定期的な健康相談等の面談、随時面談を行うなどメンタルケアの強化を図り、先生方のメンタルヘルスの維持向上に努めるとともに、校内のバリアフリー化の現状を確認することによって、すべての職員にとって居心地の良い職場環境を目指す。また、先生方の部活動指導の負担を軽減するために部活動の再編を行う。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。